PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

62-200924

(43) Date of publication of application: 04.09.1987

(51)Int.CI.

H04B 5/00

(21)Application number : 61-043722

(71)Applicant: FURUKAWA ELECTRIC CO

LTD:THE

(22)Date of filing:

28.02.1986

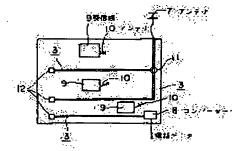
(72)Inventor: HONDO HIROTOSHI

(54) INDOOR COMMUNICATION METHOD

(57)Abstract:

PURPOSE: To move an under carpet cable without reinstallation by leaking an input signal received or inputted from an antenna or a converter into a room from a leakage cable and receiving the signal through an antenna fitted to a receiver.

CONSTITUTION: The antenna 7 or the converter 8 is connected to a terminal of the flat leakage cable 3, the input signal received or inputted by the antenna 7 or the converter 8 is leaked into the room from the leakage cable 3 and received by the antenna 10 fitted to the receiver 9 such as a TV receiver. The receiver 9 and the leakage cable 3 are connected indirectly through the antenna 10. As the flat leakage cable 3, it should be made as thin as possible because the cable is installed on the floor, that is, under the carpet.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than

the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑲ 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭62-200924

⑤Int,Cl.⁴

織別記号

庁内整理番号

43公開 昭和62年(1987)9月4日

H 04 B 5/00

A - 7323 - 5K

審査請求 朱請求 発明の数 1 (全3頁)

9発明の名称 室内通信方法

②特 願 昭61-43722

20出 願 昭61(1986)2月28日

60発明者 本道 博 敏

東京都千代田区丸の内2丁目6番1号 古河電気工業株式

会社内

切出 頤 人 古河電気工業株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目6番1号

明 知 1

1. 発明の名称 室内遺信方法

2. 特許請求の額面

3. 発明の詳細な説明

(技術分野)

本免明は床面に布設した顕改ケーブルを介して 外部より受信、入力した信号を案内の受信機に伝 える室内退信方法に関するものである。

(従来技術)

ビル内や家庭内に提供される情報手段としてテレビや電話等があり、前者はアンテナから受像概まで、後者も履内配線で電話概までケーブルが配線されている。これに加えて銀近ではファクシミリやCATV等の労及発展に伴いさらに多くの配線が窒

内を所狭しと配線されるようになり、これら多くの配線銀により室内の美質が損なわれるようになってきた。そこでこの対策として配線類をカーペットの下に布設できるアンダーカーペットケーブルというフラット状のケーブルの導入が盛んに行われている。

ところでこれらの配線は当初は計画的に配線されるものの、接続する機器、例えばOA機器(オフィスオートメーション機器の略)を増設したり、あるいは室内の模様替えで前記機器を移設しようとすると、その度毎にケーブルの布級配線替えを行わなければならず、増設や移設が簡単に行えないという問題がある。

{発明の目的}

的記問題に嫌み本発明の目的は、予め布設して あるアンダーカーペットケーブルを布設替えする ことなしに、例えばOA機器等を増設したり、移設 できる室内遺信方法を提供することにある。

(発明の構成)

前記目的を達成すべく本発明の遊信方法は、宋

面に布設されたフラット状の過速ケーブルの協来 にアンテナ又はコンパーターを接続し、協アンテ ナ又はコンパーターで受信または入力した入力信 号を前記都波ケーブルから室内に溜波せしめ、こ れを受信機に取り付けられたアンテナを介して受 信することを特徴とするものである。

〔発明の実施例〕

以下に本発明の実施例を図を参照して詳細に説で、第1図は本発明の一実施例を示すもので、 本図が示すように本発明にあっては、例えばビルあるいは定庭の室内の床面に布投された例えばが、 2 図~第4 図に示すようなフラッとの過去にアンチナインパーター 8 ではコンパーター 8 ではコンパーター 8 ではコンパーター 8 ではまたは人力したした。これを受像でするからになり付けられたアンテナ10を介して受信するからに取り付けられたアンテナ10を介して受信するが、である。この機能を示す。を 数、符号12は網边ケーブル3の機を示す。 は、符号12は網边ケーブル3とにないまたに が記った。

限したもので、これにも当然のことながら最外層に図示されていないがシースが施される。 尚、第3図及び第4図のものにおいては金属テープ 4間の隙間やそのピッチまたスロットのピッチや大きさで爆液量を調整する。

また第1図でコンバーター 8 を使用する場合は、 外部からの入力信号の周波数が受信機 9 の使用周 坡数と一致しない場合、これを一致させるために 使用するもので、両周波数が一致している場合は 不要である。

このようにしてなる本発明にあっては、受信機 9 と調査ケーブル3とはアンテナ10を介して間接 的に繋がっているだけで、従来のごとく直接接続 されていない。それ数受信機9を増設したり、移 設したりする場合は、単に必要な所へ受信機9の み移動するだけでよく、従来のごとくケーブルを 新たに布設したり、布設の変更をしたりする必要 は全くない。

(発明の効果)

前途の如く本発切によれば、GA機器等の受信機

すなわちカーペット下に布設されるもの故できる だけ厚さの強いものがよい。具体的に第2図~第 4 図に沿って各々のケーブルを延明する。まず事 2 図に示すものは通常平行 2 統式調査ケーブルと 呼ばれるもので、特に輝くするため準体1a及び1b を複数本の細線を並列配置する構成にして、これ に絶縁体 2 を施したものである。 商この構造にあ っては、写体la、lbを構成する知線の本数を異な らせることによって顕世登を変えることができる。 当然のことながら前記導体1を損象で構成しても よい。また第3回に示すものはやはり強くするた め複数本の組線を並列配置して退体1を形成し、 篠厚体1と同軸状に絶縁体2を被覆し、按路縁体 2上に銅テーブ等の金属チーブ 4 を適当なピッチ でかつ間隔をあけて巻き、図示されていないシー スを施したものである。尚この第3図のものにお いても導体1を網条で構成してもよい。さらに第 4 図に示すものは、胡条を導体 1 とし、これに絶 緑体2を前記罩体1と同軸状に被覆し、これに所 定のピッチで設けたスロット付金属チープもを被

の増設、移設に際し、予め布設してあるアンダー カーベットケーブルを布設替えする必要がなく、 もって増設等の作業がきわめて容易に行える。 4.図面の簡単な説明

第1図は本発明の室内通信方法の一実施例を示す概略図、第2図乃至第4図は本発明に使用するフラット状の凝視ケーブルの一実施例及び他の実施例を示す終視図である。

3~鎖換ケーブル 7~アンテナ 8~コンパ ~ター 9~受信機 10~アンテナ

特許出駁人 古河電気工業株式会社



特開明62-200924(3)

